

グラフィックデザイン学科 学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業関係専門課程	グラフィックデザイン学科	○	-		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1860 時間	360 時間	93 時間	1407 時間	0 時間	0 時間
			1860 時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		68 人	0 人	3 人	9 人	11 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） グラフィックデザイン学科 グラフィックデザイナーとして必要とされるコミュニケーション能力、理解力・分析力・構成力を身につけさせることを基本としている。またポスター・カタログ等の印刷媒体から、Web デザイン、CG 等の映像媒体まで幅広く多様化した現在の広告業界に対応できるような人材育成を目指しており、それぞれの授業すべてにおいて、年間のシラバス及びコマシラバスを作成し実施している。一コマは 50 分。
成績評価の基準・方法
（概要） 成績評価の基準はグレード・ポイント・アベレージ（履修科目の成績の平均値。以下「G P A」という。）制度による評価について必要な事項を定め、透明性のある成績評価を行っている。 G P A は、次の式により計算するものとし、その数に小数点以下第二位未満の端数があるときは、小数点以下第三位の値を四捨五入するものとする。 $(\text{式 1}) \quad G P A = \frac{(G P \times \text{時間数}) \text{の総和}}{\text{履修科目の総時間数}}$
卒業・進級の認定基準
（概要） 当校における卒業及び進級の認定は進級・卒業審査で行っている。この審査では担任が予め作成した個人ごとの評価資料（定期試験結果、出席、資格の取得状況、卒業・修了作品の評価、学費の納入状況等）を基に進級及び卒業の要件に照らし合わせ、それぞれの評価項目で基準に達していることを条件に認定を行っている。 また、進級及び卒業要件は「学生の手引き」に記載しており年度初めに学生に公表している。

学修支援等
入学後のオリエンテーションにて学科概要を説明 龍馬学園就職支援部と協力した就職指導 個別面談で学生の状況を把握（場合によっては保護者も交える）

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
37 人 (100%)	2 人 (5.4%)	32 人 (86.5%)	3 人 (8.1%)
（主な就職、業界等） デザイン・印刷業界及び Web 制作業			
（就職指導内容） クラス担任、就職専任スタッフ、産業カウンセラーによる トリプルサポート体制で、学生アンケートをもとに、きめ細かな就職指導の体制を取るとともに、県内・外の様々な企業を招いて、龍馬学園単独の「企業セミナー」を開催するなど、総合専門学校ならではの、スケールメリットを活かして、学生たちの就職をサポートしている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 色彩検定 3 級・2 級・1 級・UC 級 イラストレータークリエイター能力認定試験スタンダード フォトショップクリエイター能力認定試験スタンダード			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
76 人	4 人	5.3%
（中途退学の主な理由） 入学前にどんな感じの学校なのかをまったく調べずに入学し、イメージと違っており進路変更。大勢の中で学習することが困難であるとともに、家族の関東転勤に合わせて小人数制のスクールを検討し進路変更。職業訓練生で、校外研修などに配偶者を無断で同行させ問題になったため。		

（中退防止・中退者支援のための取組）

入学前にどのくらい調べているのかは把握できないため、オープンキャンパスなどに参加していない限り、本人のイメージとのギャップを埋めるなどの関与が難しい。精神的なものは、別室対応なども提案したが本人がそれでも難しい場合は引き留めることが困難。入学後早い段階で面談するなど状況を把握する。訓練生に関しての問題はハローワークに報告し入所前に注意をしてもらう。